



2017-18年度
国際ロータリー会長
イアン・ライズリー

Weekly Report Niigata



ロータリー：
変化をもたらす

国際ロータリー
2017-18 年度テーマ



2017～18 年度
新潟ロータリークラブ会長
徳永 昭輝

新潟 RC 9 月第 4 例会 (2017.9.26) No.3200

(1) ロータリーソング「それでこそロータリー」斉唱

(2) 徳永 昭輝会長挨拶

1952 年 10 月、東京 RC と新潟 RC がスポンサークラブとして創立のお手伝いをした「秋田 RC」が今年 65 周年を迎えます。地区大会があり記念式典・祝賀会に出席できないため祝辞を送らせて頂きました。秋田 RC の会長も「秋田の現状、将来を観るに、人口減少・少子高齢化が大きな影を落としている」、このような状況を踏まえ、地域社会のニーズに合った社会奉仕・職業奉仕活動を行う必要性を会員に訴えています。

9 月の第 3 例会で、新潟の高齢化率について話を致しましたが、今日は「少子高齢化社会・人口減少社会」について考えてみたいと思います。

今から 50 年後の、2065 年には日本の人口は 8808 万人と推計され、合計特殊出生率(女性が生涯に産む子供の数)は 1.44 と推計しています。前々回の推計では 1.22 と発表されていたので、少し改善したように思われますが、少子・高齢化の流れに歯止めはかけられない状況です。昭和 50 年(1975)から合計特殊出生率は低下をはじめ、平成 10 年(1998) 1.38 と最低となりましたが、平成 27 年(2015)には 1.45 と少し改善しましたが、今後 2020 年代半ばにかけて 1.42 程に下がり、その後は 1.43-1.44 と安定する。このため、人口減のペースは少し緩和し、1 億人を切る時期を前回の推計より 5 年遅い 2053 年になると推計しています(2015 年の人口;1 億 2709 万人)。

わが国の人口は、2005 年(平成 17 年)をピークに減少し続けています。人口減少の問題点は、社会を支える役割を中心的に担う働き手の減少によって、経済の停滞が起こることです。将来推計人口は、出生や死亡、人の海外流出などの実績と将来予測をもとに、国勢調査に合わせてほぼ 5 年に一度算出している推計です。人口推計で重要な指標は出生率で、2.07 が人口維持の目安と言われています。政府の試算によると、毎年移民を 20 万人受け入れて、かつ出産率を 2.07(2015 年;平成 27 年、1.45)に上げれば、将来も人口 1 億人を維持できるとしています。しかし、国連統計によると、先進国の人口に占める移民の割合は軒並み 10%を超えています。日本の在留外国人はいまだに人口の 2%にすぎません。また、現政権は移民政策はとらないと言っていますから、現状では、日本の少子高齢化・人口減少社会は続くことが考えられます。

50 年後(2065 年)の人口は 8808 万人と推計されています。先にも述べたように、少子高齢化の流れに歯止めがかけられない状況の中で、2006 年、政府は新しい少子化対策を行っています。不妊治療や不育症といった支援もしていますが、子供を生むことができる女性が「子供を産み、育てられる」環境を作ることが必要だと思っています。

晩婚化が進む中で、生涯未婚率(50 歳までに一度も結婚したことがない)は、今年 53 歳になる女性では 12.0%、今年 17 歳になる女性では 18.8%と見込まれています。晩婚化や生涯未婚率の増加が少子高齢化・人口減少社会に拍車をかける状況となっています。

2015 年の出産数は 100 万 8 千人ですが、50 年後の 2065 年には出生数が 55 万 7 千人と推計され 50 年後には出生数が半減すると推計されています。

2017 年 8 月 2 日の日報の投書欄に佐渡在住の小児科の先生が意見を寄せていました。

佐渡の昨年 1 月から 6 月までの分娩数は 224 件、今年の 1 月から 6 月までの分娩数は 160 件と 64 件減少した。佐渡市では少子化対策として、18 歳までの医療費助成、第 2 子以降の保育料の無料化などを行っており、また合計特殊出生率も全国平均を上回っているのに、少子化を止められない現状について憂い、「子供の産める年齢の女性の数が減っている」ことが問題だといった内容でした。

少子化の問題がクローズアップされたのは、合計特殊出生率 1.57 となった、1966 年(昭和 41 年;丙午)でした。1971-1974 年にかけては第 2 次ベビーブームを迎え、1973 年の合計特殊出生率は 2.14、出生数も 209.2 万人になりましたが、その後は 30 年間にわたって出生数・合計特殊出生率とも減少傾向にありました。2005 年、合計特殊出生率 1.26、出生数 109 万人と最低となりましたが、2006 年の出生数は 1,112,278 人と前年を 3 万人以上上回り、少子化の傾向の流れが変わり始め、その後 30-40 代の出産が増えて 2015 年(平成 27 年)の合計特殊出生率は 1.45、出産数 100 万 8 千人になりました。しかし、2016 年(平成 28 年)98 万 1 千人と国内で生まれた赤ちゃんの数が 100 万を割っています。

歯止めのない、少子高齢化・人口減少社会において、地域のニーズに合った RC の社会奉仕・職業奉仕活動は何か、新潟 RC において今後検討していかなければならない大きな課題であると思っています。

(3) 3分間スピーチ

・(株)ニューメディア新潟センター

常務取締役新潟センター長 河西 弘太郎君



・(株)エバーソフト 社長 小林 悟君



・第一生命保険(株)新潟支社 支社長 池上 茂樹君



(4) 委員会報告

・津久井勝之職業奉仕委員より職場訪問について

10/24 柏崎刈羽原子力発電所を訪問される方は、免許証の裏表か、保険証のコピーを事務局に提出のうえ、当日は実物をご持参下さい。帰りの車中ではアルコールが出ます。

(5) 同好会報告

高橋 康隆ゴルフ同好会副会長より9/24 開催のゴルフコンペ報告。15名参加、優勝は小飯田 澄雄さん。

(6) 各種ご寄付の発表

ロータリー財団寄付発表(得永 哲史委員長)

小飯田 澄雄君

米山奨学会寄付発表(池上 茂樹委員)

白勢 仁士君

青少年育成基金寄付発表(小田 等委員長)

内山 清君 小田 等君

(7) ニコニコボックス紹介(八島 進副委員長)

・竹石 松次君 本日の卓話、雪梁舎美術館 理事長 捧 実穂さんを歓迎して。

・小飯田 澄雄君 9/24 に開催されたゴルフ同好会コンペにて隠しホールに恵まれ、久しぶりに優勝する事ができニコニコです。同伴者の福地さん、鈴木さん、井原さんありがとうございました。

・田中堅一郎君 素晴らしい賞をいただきました。実力です！

・竹田 正弘君 先日のコンペは天気に恵まれメンバーに恵まれご機嫌なスコアでした。

・新田 幸壽君 先日、娘が結婚しました。俺の頭がツルツルになる前に結婚してくれよ、というのが願いでした。まだ余裕がある時で良かったと挨拶しましたが、全然残ってねーぞと息子。確かにビデオの私は広い額だけがピカピカしていました。悔しいけれどニコニコします。

(8) 幹事報告(織戸 潔幹事)

・ロータリーレートが10月より現行の1ドル、109円から112円に変更になります。

(9) 卓話「雪梁舎美術館とフィレンツェ賞展」

(公財)雪梁舎美術館理事長 捧 実穂氏



(10) 9月26日例会の出席率 71.26%

会員数 93名(出席免除会員 8名)

出席者 62名(出席免除会員2名を含む)

(2週間前メーク後 88.64%)

10月10日の例会予定

会員スピーチ

「インターネットで、もっと仕事を簡単に」

(株)ProntoNet 代表取締役 小木 将綱君

新潟ロータリークラブホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>